２０２２年度事業報告

２０２２年度中に一般社団法人東京科学機器協会が実施した事業及びその他の活動状況について，次の通り要約して報告いたします。

事　業　報　告

２０２２年4月１日から２０２３年3月３１日まで

〔 組 織 と 人 事 〕

１．会員数に関する件（会員異動）

2022 年度期首	328 社
当期中の加入	12 社
当期中の退会	12 社
2022 年度期末	328 社

〈当期中の加入者〉

MSH システムズ㈱	(2022 年 4 月入会)
THK㈱	(2022 年 4 月入会)
㈱ダルトンメンテナンス	(2022 年 4 月入会)
㈱ツインバード	(2022 年 4 月入会)
輝達商事㈱	(2022 年 4 月入会)
㈱鬼塚硝子	(2023 年 1 月入会)
三浦工業㈱	(2023 年 1 月入会)
エッペンドルフ㈱	(2023 年 3 月入会)
日本コントロールシステム㈱	(2023 年 3 月入会)
㈱細川洋行	(2023 年 3 月入会)
ワケンビーテック㈱	(2023 年 3 月入会)
西川計測㈱	(2023 年 3 月入会)

２．役員・相談役・顧問・参与

理 事 長	:	長谷川壽一	(代表理事)		
副理事長	:	入江一光	(代表理事)	柴田眞利	
財務理事	:	下平克彦		増田太郎	
専務理事	:	梅垣喜通			
理　　事	:	竹田拓人	高橋秀雄	富山裕明	平田紀行
		大川昌男	西岡光利	福島　亮	谷尾俊昭
		野村篤史	三田村義崇	浦　明子	大舘洋一
		金谷幸一郎	白井一夫	中井　泉	
監　　事	:	栗田宣義	髙橋正行	土井将司	

相 談 役 ：	入江照四	矢澤英人	関谷幸弘	杉山雄之介
	荻田隆久	木崎民生	佐藤紀一	

参　　与 ：	今村　清	雨宮重夫	野村雅久	平井夏夫
	白井義則	森川　智	江守　栄	高木康光
	徳増安則	野木賢一	志智裕之介	佐藤文俊
	青柳喜彦	南　明則	西原克年	木村　勉

３．事務局異動

2022 年 10 月 26 日　長谷川高史　嘱託職員として採用（参事）
2022 年 12 月 31 日　森尾　武男　退職

４．総務会・監事会・委員会等

当期中，活動した運営委員会・事業委員会等は次の通り。

〈 総 務 会 〉

長谷川壽一	入江一光	柴田眞利	下平克彦	増田太郎
梅垣喜通	竹田拓人	高橋秀雄	富山裕明	

〈 監 事 会 〉

栗田宣義	髙橋正行	土井将司

〈 常設委員会 〉

(1) 展示会委員会　(21 名)

委 員 長 ：	柴田眞利			
副委員長 ：	高橋秀雄	野村篤史		
委　　員 ：	中井　泉	青木　崇	有村俊志	伊藤忠浩
	遠藤　聡	岡部和徳	鎌田健嗣	北村英樹
	小磯隆次	佐野賢二	田上伸一	竹田　景
	田口浩之	塚越猛典	永易亜沙子	布村友子
	渡辺　徹	伊藤弘一郎		

(2) 総覧委員会　(12 名)

委 員 長 ：	福島　亮			
副委員長 ：	竹田拓人			
委　　員 ：	浦　明子	大舘洋一	金谷幸一郎	白井一夫
	藤本浩正	郡　憲幸	山根高行	住友美貴
	石川央紀	藤原将展		

(3) 経済委員会　　(7 名)

委 員 長 ： 西岡光利
副委員長 ： 平田紀行　大川昌男
委　　員 ： 三田村義崇　白井一夫　若井田健文　佐藤嘉紀

(4) 技術委員会　　(6 名)

委 員 長 ： 富山裕明
副委員長 ： 下平克彦　平田紀行
委　　員 ： 三田村義崇　中井　泉　國井康裕

(5) 広報委員会　　(11 名)

委 員 長 ： 梅垣喜通
副委員長 ： 高橋秀雄　西岡光利
委　　員 ： 富山裕明　野村篤史　外嶋友哉　若井田健文
夏目知佳子　鈴木裕之　筒井紫乃　國井康裕

(6) 交流・厚生委員会　(5 名)

委 員 長 ： 竹田拓人
副委員長 ： 谷尾俊昭
委　　員 ： 浦　明子　竹田　景　三城敦子

第 74 回 新春大懇親会幹事会　(6 名)

代 表 幹 事： 下平克彦
副代表幹事： 竹田拓人　野村篤史
幹　　事： 矢澤　徹　夏目知佳子　若井田健文

(7) 国際委員会　　(11 名)

委 員 長 ： 下平克彦
副委員長 ： 大川昌男　福島　亮
委　　員 ： 金谷幸一郎　鵜殿直子　中川洋祐　伊東義則
奥川　博　下川宏行　芳野啓介　王　維一（臨時委員）

〈 特別委員会 〉

(1) 規約・協会将来委員会　　(7 名)

委 員 長 ： 入江一光
副委員長 ： 下平克彦　増田太郎
委　　員 ： 高橋秀雄　富山裕明　大川昌男　野村篤史

(2) 会員増強委員会　　(6 名)

委 員 長 ： 高橋秀雄
副委員長 ： 柴田眞利　竹田拓人　谷尾俊昭
委　　員 ： 大舘洋一　白井一夫

(3) 選挙管理委員会　　(14 名)

委 員 長 ： 野中智臣
副委員長 ： 井上輝彦
委　　員 ： 土井将司　　岡田康弘　　山河正道　　鳥居理恵
臨時委員 ： 河西誠司　　若井田健文　筒井紫乃　　中川洋祐
矢澤　徹　　杉山大介　　佐藤嘉紀
アドバイザー： 本郷千恵子

〔 会 議 〕

1．通 常 総 会

第 77 回通常総会を次の通り開催した。

・日　　時 ： 2022 年 5 月 26 日　15:30～17:35
・会　　場 ： 上野・精養軒「桐の間」
・出 席 者 ： 279 社（委任状含む）

承認議案は次の通り

第 1 号議案　2021 年度事業報告
第 2 号議案　2021 年収支決算報告
第 3 号議案　2022 年度事業計画(案)審議
第 4 号議案　2022 年度収支予算(案)審議
第 5 号議案　定款改定(案)審議
第 6 号議案　役員の任期満了に伴う改選

2．理 事 会

定例理事会を開催した。　7 回開催
第 77 回通常総会当日に臨時理事会を開催した。　2 回開催

3．監 事 会　2 回開催

会計監査のため監事会を開催した。

・日　時 ： 2022 年 4 月 12 日
・会　場 ： （一社）東京科学機器協会　会議室

会計監査の準備のため監事会を開催した。

・日　時 ： 2023 年 3 月 10 日
・会　場 ： （一社）東京科学機器協会　会議室

〔 委 員 会 等 〕

１．総務会

協会運営に関する重要事項を検討・協議した。　11 回開催

２．常設委員会・幹事会

(1)	展示会委員会	1 回開催
(2)	総覧委員会	5 回開催
(3)	経済委員会	3 回開催
(4)	技術委員会	3 回開催
(5)	広報委員会	6 回開催
(6)	交流・厚生委員会	1 回開催
(7)	国際委員会	3 回開催
(8)	第 74 回新春大懇親会幹事会	3 回開催

３．選挙管理委員会　2 回開催

役員改選に係る一連の準備手続きを行った。

４．規約・協会将来委員会　3 回開催

理事長からの諮問に応じ，協会運営の円滑化のために，運営の課題，組織のあり方，その他当会の将来展望について協議・検討を行った。

５．会員増強委員会　3 回開催

会の組織強化に向けて，会員増強に関する対策及び募集活動を積極的に行った。

〔 事 業 活 動 概 要 〕

１．「JASIS 2022」・「JASIS 関西 2023」開催に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共催した本展示会の日科協側の実務・運営を受託，開催に協力した。本展示会では感染症防止対策を施し，コロナ禍において会員企業をはじめ，出展社にマーケティングの機会を提供し日本の科学技術の発展に寄与した。

◆ 「JASIS 2022」

・会　　期 ： 2022 年 9 月 7 日～9 日
・会　　場 ： 幕張メッセ
・主　　催 ： (一社)日本科学機器協会／(一社)日本分析機器工業会

・総出展社数　：　322社／機関
・総出展小間数　：　982小間

・来場者数　単位：人

	JASIS2022	天気	JASIS2021
9月7日(水)	4,195	曇り	3,041
9月8日(木)	4,032	曇り時々雨	2,724
9月9日(金)	4,238	晴れ	2,725
合　計	12,465		8,490

◆「JASIS 関西 2023」
・会　　期：2023年2月1日～3日
・会　　場：グランキューブ大阪
・主　　催：(一社)日本科学機器協会／(一社)日本分析機器工業会
・総出展社数：100社／機関
・総出展小間数：179小間（ソリューション小間を含む）
・来場者数：3,209人

２.「JASIS 2023」の開催準備活動に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共催する両展示会の日科協側の実務・運営を受託した。出展募集に当たっては，2023年1月に開催要項を作成，前回の出展社や各地区協会会員企業のほか非会員企業にも配布するなど，広く出展募集活動を行った。このほか，機関誌・ホームページ・e-mailなどを利用して，本展の広報・PRに努めた。

◆「JASIS 2023」開催概要
・会　　期　：2023年9月6日（水）～8日（金）(3日間)
・会　　場　：幕張メッセ
・主　　催　：(一社)日本科学機器協会／(一社)日本分析機器工業会

３.「科学・分析機器総覧2023」印刷版・DVD版の編集・発行製作および「WEB科学機器総覧」の運営に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共同で発行した「科学・分析機器総覧2023」印刷版・DVD版の編集・発行・製作の実務・運営を受託，掲載募集をはじめ原稿作成・校正等掲載会社との連絡や，編集作業などの活動を行い，同総覧の編集・発行・製作に協力した。

2022年9月に「科学・分析機器総覧2023」印刷版・DVD版を発行製作（20,200部），「JASIS 2022」や「JASIS 関西2023」，「真空展2022」，「日本分子生物学会年会2022附設展示会」，「日本生化学会2022附設展示会」，「SEMICONJapan 2022」，「NANO TECH 2023」等展示

会の会期中，来場者に配付したほか全国の会員企業を通じて，全国の主要ユーザーに配布した。また，WEB 科学機器総覧(https://www.soran.net) は，約 2,800 製品を掲載している日本最大級の科学機器ポータルサイトとして，多くのユーザーの便宜に供している。2022 年 6 月にリニューアルを行い，より使いやすく見やすくなった。

なお，日本の科学機器・分析機器取扱会社を世界に向けて紹介する「英語版ウェブサイト『SORAN』(https://soranjapan.com) に，掲載会社は無料で掲載でき，現在 124 社が掲載している。

４.「科学・分析機器総覧 2024」印刷版・DVD 版の編集・発行・製作準備活動に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共同で発行する「科学・分析機器総覧 2024」印刷版・DVD 版の編集・発行・製作の実務・運営を受託した。

掲載募集に当たっては，2023 年 1 月に掲載募集案内を作成，前回の掲載会社や各地区協会会員企業のほか非会員企業にも配布し，また「SEMICONJapan 2022」,「NANO TECH 2023」,「JASIS 関西 2023」会場で配布するなど，広く掲載募集活動を行った。

このほか，機関誌・ホームページ・e-mail などを利用して，広報・PR に努めた。

2023 年 9 月に「科学・分析機器総覧 2024」印刷版を発行/DVD 版を製作，「JASIS 2023」,「真空展 2023」,「日本分子生物学会年会 2023 附設展示会」,「日本生化学会 2023 附設展示会」,「SEMICONJapan 2023」,「NANO TECH 2024」などで来場者に配付する予定のほか，全国の会員企業を通じて，全国の主要ユーザーに配布する予定。

５．広報に係る事業

当期中，次の事業活動を行った。

(1) (一社)日本科学機器協会 機関誌「科学機器」編集・発行に協力

(一社)日本科学機器協会 機関誌「科学機器」編集発行の実務・運営を受託，毎月 1,750 部発行（No.886～897）して，日本科学機器協会会員に配付したほか，関係機関等に寄贈するなどの活動を行い，編集発行に協力した。

(2) 「科学機器入門」（増補改訂版）を頒布

2010 年 3 月に刊行した，冊子「科学機器入門」（増補改訂版）は，会員をはじめ全国各地の希望者に有償で頒布した。

(3) 「科学機器入門」（第 3 版・最新版）を発刊

冊子「科学機器入門」（第 3 版・最新版）の製作準備を行い，2023 年 1 月に「科学機器入門」（第 3 版）を発刊した。

会員会社をはじめ関係団体等に寄贈するとともに，全国各地の希望者に有償で頒布した。

また，「JASIS 関西 2023」において科学機器入門セミナーを開催し聴講者へ頒布した。

(4) IT 活用

協会ホームページで会員企業全社の紹介をはじめ，協会の事業内容・組織図，「JASIS」・「WEB 科学機器総覧」の PR，技術情報，各種研究開発助成金制度や関係官庁・団体からの告示を転載するなど，会員にとって必要な最新情報を掲載した。また，(一社)日本科学機器協会はじめ，関連機関とのリンクや内外からのアクセスに対し，e-mail による回答や各種情報の受信・発信を行った。

URL： https://sia-tokyo.gr.jp

(5) 協会パンフレット（SIA TOKYO）の製作・配付

2022 年 9 月に本会パンフレットを製作し，会員や関連機関等に広く配布した。

(6) その他，会員に対する各種情報の提供

当期中に，関係省庁・関係学会・関連団体等から入手した各種情報の内，必要な事項について機関誌「科学機器」に掲載したほか，主に e-mail による各種情報の発信を行った。また，国内外からのアクセスに対しては，電話をはじめ e-mail・FAX・郵便等による回答を行った。

６．経済活動に係る事業

当期中，次の事業活動を行った。

(1) 実勢景況調査実施に協力

(一社)日本科学機器協会が毎年実施する実勢景況調査に協力し，当業界の景気動向調査を行い，その集計結果を機関誌「科学機器」に掲載し，会員へ情報提供を行った。

(2)「新入社員研修（対面およびオンライン）」を開催

・日時・会場：

Ａコース(対面) 2022 年 4 月 4 日～5 日 10：00～16:00

(一社) 日本科学機器協会 会議室

Ｂコース(オンライン) 2022 年 4 月 14 日～15 日 10：00～16:00

・講　　師 ： 菊地理恵 氏（㈲エファ 代表取締役/Ａコース）

小林三曜子 氏（㈲エファ 認定トレーナー・秘書検定審査員/Ｂコース）

・受 講 料 ： 7,000 円

・受 講 者 ： Ａコース 5 社／15 名（満員）・Ｂコース 5 社／9 名

(3)「2022 年 ビジネスセミナー（オンライン）」を開催

・日　　時 ： 2022 年 7 月 27 日 15：00～17:00

・参加形式　：　オンライン
・テーマ・講師：
①「中小企業が知っておきたいハラスメント対策～パワーハラスメント防止措置を中心に～」
講　師　：　東京都労働局　雇用環境均等部　指導課　ハラスメント防止対策官
江口正太 氏
②　「日本のエネルギー政策について」
・講　　師　：　経済産業省　製造産業局　産業機械課　課長補佐　池田秀俊氏
・受 講 料　：　無料
・受 講 者　：　42 社／76 名

(4)　「新入社員フォローアップ研修」を開催
・日　　時　：　2022 年 10 月 13 日　　9:30～16:30
・会　　場　：(一社) 東京科学機器協会　会議室
・講　　師　：　菊地理恵 氏（㈲エファ　代表取締役）
・受 講 料　：　5,000 円
・受 講 者　：　6 社／17 名

(5)　「営業社員研修（オンライン)」を開催
・日　　時　：　2022 年 11 月 4 日　　9:30～17:00
・開催形式　：　オンライン
・講　　師　：　牛道 茂 氏（㈲エファ 認定コンサルタント）
・受 講 料　：　5,000 円
・受 講 者　：　12 社／32 名

(6)　「管理者マネジメント強化研修」を開催
・日　　時　：　2023 年 2 月 27 日　　9：15～17:00
・会　　場　：　（一社）東京科学機器協会　会議室
・講　　師　：　牛道 茂 氏（㈲エファ 認定コンサルタント）
・受 講 料　：　7,000 円
・受 講 者　：　13 社／22 名

(7)　「管理職が知っておきたいコンプライアンス研修」を開催
・日　　時　：　2023 年 3 月 7 日　10:00～16:00
・会　　場　：　（一社）東京科学機器協会　会議室
・講　　師　：　菊地理恵氏（㈲エファ　代表取締役）
・受 講 料　：　6,000 円
・受 講 者　：　12 社／20 名

(8)　「生産性向上特別措置法」および「中小企業経営強化法」に係る税制措置に必要な証明書発行手続き（日科協に協力）
（一社）日本科学機器協会が，「生産性向上特別措置法」，中小企業経営強化法」に係る税制措置に必要な「試験又は測定機器」と「測定工具及び検査工具（工具)」の

証明書発行団体となっており，同会に協力して証明書発行業務を行い，本年度内に191 件に証明書を発行した。

7．技術振興に係る事業

当期中，次の事業活動を行った。

(1)「科学機器学習教室」を開催

①「真空編」

・日　　時　：2022 年 12 月 9 日　15:00～17:30
・開催形式　：オンライン
・講　　師　：木ノ切 恭治 氏　(真空テクノサポート代表・元日本真空工業会専務理事)
・受 講 料　：無料
・受 講 者　：33 社／129 名

(2)「科学の峰々」オンラインセミナーを開催

・日　　時　：2023 年 3 月 1 日　16:00～17:15
・開催形式　：オンライン
・テーマ　　：グリーン・デジタル社会と産業の川上「結晶」の重要性
・講　　師　：大阪大学 大学院工学研究科　電気電子情報通信工学専攻
森　勇介 教授
・受 講 料　：無料
・受 講 者　：20 社／29 名

(3)「福島第一原子力発電所 視察会」を開催

・日　　時　：2023 年 3 月 17 日　12:30～16:00
・視察場所　：廃炉資料館・福島第一原子力発電所 構内視察
・参加者数　：16 社／16 名
・参　　加　：無料

(4)「毒物劇物取扱者資格試験」2022 年度受講準備会を開催
((公社) 日本理科教育振興協会と共催)

・会　　期　：2022 年 7 月 25 日～28 日
・会　　場　：連合会館
・講　　師　：基礎 谷川 貴信 氏（多摩大学目黒中・高等学校 教諭）
法規 戸井崎 茂 氏（東京都鍍金工業組合 環境科学研究所）
各論 志賀 孝作 氏（東京都鍍金工業組合 環境科学研究所）
・受 講 料　：44,000 円
・受 講 者　：日科協会員　2 社／5 名

(5)　(一社) 日本科学機器協会が関わった IEC（国際電気標準会議）の技術関連業務に協力した。

８．国際活動に係る事業

当期中，(一社)日本科学機器協会の業務に協力し，次の活動を行った。

(1)「UKCA マークに関するウェビナー」録画動画を公開（技術委員会と共催）
- 公開期間　：　2022 年 4 月 25 日～5 月 19 日（日科協会員限定）
- 講　　師　：　JETRO　ロンドン事務所　ダイレクター　山田恭之 氏
- 受 講 料　：　無料
- 受 講 者　：　49 名

(2)「WEB 説明会 技術流出防止管理説明会」を開催（技術委員会と共催）
- 日　　時　：　2022 年 7 月 12 日　　13:00～15:00
- 講　　師　：　安全保障貿易管理　自主管理促進アドバイザー　濱 宏 氏
- 受 講 料　：　無料
- 受 講 者　：　27 社／53 名

(3) JASIS2022 期間中の事業「『高雄市儀器商業同業公會』とのミーティング」を実施
- 日　　時　：　2022 年 9 月 7 日　　11:30～13:30
- 会　　場　：　幕張　ホテルニューオータニ
- 出 席 者　：　日科協：4 名 / 高雄市儀器商業同業公會：2 名

(4)「第 15 回 台北国際儀器展」訪問と出展参加を実施

「第 15 回 台北国際儀器展」
- 会　　期　：　2022 年 10 月 28 日～31 日　　09:00～17:00
- 会　　場　：　台湾・台北市　台北世界貿易センター
- 出店規模　：　100 社／262 小間
- 来場者数　：　不明
- 主催者の台北市儀器商業同業公會から，招待と無料小間提供の連絡があり，（一社）日本科学機器協会を代表して，下平財務理事・国際委員長が同展示会を訪問，開会式・祝賀会に出席した。
- 日科協出展小間において，協会や JASIS，英文サイト「SORAN」の PR 活動を行った。

(5)「海外ビジネスの基本セミナー」を開催（(独法）中小企業基盤整備機構と共催）
- 日　　時　：　2022 年 11 月 22 日　　14:00～15:30
- 開催形式　：　オンライン
- テ ー マ　：　『海外展開・海外市場へのチャレンジ！』～基本的な事々を分かって準備して～
- 講　　師　：　（独法）中小企業基盤整備機構　国際化支援アドバイザー　水澤 重明 氏
- 参 加 費　：　無料
- 受講人数　：　32 社／44 名

(6)「WEB 説明会 安全保障貿易管理説明会」を開催

・日　　時　：2023 年 2 月 16 日　13:00～15:00
・講　　師　：安全保障貿易管理　自主管理促進アドバイザー　濱 宏 氏
・受 講 料　：無料
・受 講 者　：26 社／88 名

(7)「PITTOCON 2023」訪問と出展参加を実施

「PITTOCON 2023」

・会　　期　：2023 年 3 月 18 日～22 日
・会　　場　：アメリカ・フィラデルフィア・ペンシルバニアコンベンションセンター
・視察ツアーは諸般の事情を考慮し中止。
・(一社) 日本科学機器協会を代表して，下平財務理事・国際委員長が訪問，国際委員会の中川委員と共に主催者とのミーティングを行い，主催イベントについての情報交換や，今後の相互交流などについて議論を行った。
・展示会に出展し，協会，JASIS，英語サイト「SORAN」などの PR を行った。
((一社) 日本分析機器工業会と共同出展)

(8)「英語版 科学・分析機器取扱会社サイト『SORAN』の運営に協力

総覧委員会に協力して，「英語版科学・分析機器取扱サイト『SORAN』」
http://soran.japan.com の運営や PR 活動を行った。

(9) “JETRO 貿易実務オンライン講座”に (一社) 日本科学機器協会と共に協力

(一社) 日本科学機器協会が，日本貿易振興機構 (JETRO) と団体契約を結び，2022 年度の 6 期において，JETRO 貿易実務オンライン講座に協力した。

９．会員交流および厚生に係る事業

当期中，次の事業活動を行った。

(1) 第 77 回通常総会当日　名刺交換会を開催

・日　　時　：2022 年 5 月 26 日　18：00～18：40
・会　　場　：上野精養軒 (3 階 桜の間)
・参 加 者　：約 100 名

(2)「初級ビジネス英会話講座」を開催 (全 25 回)

・期　　日　：2022 年 5 月 31 日～2023 年 4 月 5 日までの毎週火曜日 19:00～20:30
・会　　場　：(一社)日本科学機器協会　会議室 (オンライン併用)
・講　　師　：Tomomi Yokomoto 氏
・会　　費　：30,000 円 (25 回分)
・受 講 者　：10 社／10 名

(3) 「第8回 親睦ボウリング大会」を開催
・日　　時　：2022年10月21日　18:40～20:30
・会　　場　：東京ドーム　ボウリングセンター
・会　　費　：3,500円（2ゲーム，貸靴）
・参 加 者　：24社／132名

(4) 「第1回 SIAカップ（ゴルフ大会）」を開催
・日　　時　：2022年11月19日
・会　　場　：霞台カントリークラブ　つくばコース（茨城県稲敷市）
・会　　費　：3,000円
・参加人数　：30社／35名

(5) 「第2回 フランスワイン講座」を開催
・日　　時　：2022年12月8日　18：30～20:00
・会　　場　：ゲートカフェ（東京都中央区）
・講　　師　：阿保 孝史氏（(株)恵比寿ワインマート「ラ・ヴィネ」店長
・会　　費　：6,000円
・参 加 者　：8社／11名

(6) (一社) 日本科学機器協会 2023年賀詞交歓会に賛同し，共に新年を祝った。
・日　　時　：2023年1月10日　17：30～19：00
・会　　場　：グランドプリンスホテル高輪「プリンスルーム」
・参 加 者　：246名

(7) 「第74回新春大懇親会」開催中止
・日　　時　：2023年3 月
・会　　場　：上野精養軒
＊例年開催している熱海後楽園ホテルでの開催の代替案として，上野精養軒での開催を検討したが，コロナウイルス感染症の影響を含む諸般の理由によりやむなく役員会にて中止という判断に至った。

１０．団体PL保険制度への参加協力

会員企業の経済的リスク軽減を図る主旨で，東京海上日動火災保険会社と提携して，(一社)日本科学機器協会団体PL保険（製造物賠償責任保険）制度に，当期中も本会会員企業が加入して，同制度の継続に協力した。

１１．グループ保険制度への参加協力

会員企業の福利厚生の充実を図ることを目的とし，生命保険会社の協力を得て，1997

年２月１日付で設立された(一社)日本科学機器協会グループ保険制度に，当期中も本会会員企業が加入して，同制度の継続に協力した。

１２．団体長期障害所得補償保険（GLTD）への参加協力

会員企業の福利厚生制度の充実を目的に，生命保険会社の協力を得た，(一社)日本科学機器協会団体長期障害所得補償保険（GLTD）制度に，当期中も本会会員企業が加入して，同制度の継続に協力した。

１３．官公庁・学会・団体等との協調および協力

当期中，官公庁，関係学会・関係団体と協調および協力を行った。

WEB 版 都民計量のひろば 2022（くらしと計量）の実行委員会として参加。
・WEB 版公開期間：2022 年 10 月 16 日～12 月 15 日

１４．部会等の活動に対する支援

当期中，次の部会等の活動を支援した。

(1) S.J.C.（サイエンス・ジュニアーズ・クラブ）では，勉強会をはじめ講演会・企業見学会を開催したほか，社会貢献活動を行うなど年間を通じて業界の後継者としての素養の研鑽に励み，本会はこれを支援した。

(2) サイエンス部会では，年５回例会を開いて会員相互の親睦と研鑽に努め，本会はこれを支援した。

１５．対外機関への支援・協力

当期中，関係学会・友好団体等の活動に対して協賛又は協力した。